



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2022年03月22日 第1061号「週刊五十嵐レポート」

## 世の中変える

3月19日付日経新聞、「活字の海で」より。フェミニズムを意識した東京の書店がファンをつかんでいる。独自の選本や取り組みで、思想を身近に体感できる工夫をこらす。

「フェミニストのための本屋」を標榜し、絵本から学術書まで3000点弱が並ぶ。30～40代の女性客が中心だが、「ヤングフェミニスト割引」を始めると、若者も一気に増えた。10代と学生が使える仕組み。

小さな店だがカフェスペースを設け、通路はベビーカーが通れる幅にし、法律や宗教などあらゆるジャンルで女性著者を集めた。男性客も3割ほど占める。

フェアや著者イベントなどにも積極的に取り組んでおり、「まず私たちが行動することで世の中を変えたい」と。書店は情報発信の場所であり、同じ思いを持つ人が集まれる場所である、と。

2018年1月に創業した「身長155cm以下の小柄女性」に特化したアパレルブランド「COHINA(コヒナ)」。立ち上げ当初、周囲から「市場が小さすぎる」と言われ、事業を疑問視されていた。

もともと身長148cmと151cmの女性2人が「自分たちが本当に欲しくてジャストフィットで着れる服が欲しい」という思いだけで立ち上げた。今や月商1億円程度を超える規模に成長している。

常に新たな市場はあることを教えてくれる。経営は「顧客(市場)の創造」なんだと気づかされる。既存の業界に染まってしまうと「うちの業界はあーだこーだ」と閉塞感に包まれてしまう。

顧客を観察したり、市場を細分化してみたり、世の中に足りないもの、自分としてあればいいなというものなど考え、試行錯誤してみる。

小さな会社にとって、同業者の追随やモノマネは避けなければならない。小さな市場や特定の市場を見つけたり、作ったりして企業の存在意義を獲得すること。結果、世の中を変えることにつながる。

ちょっと  
気になる出来事

2月28日付日経新聞、国際ハッカー集団「アノニマス」はロシアの政府機関ウェブサイトを標的とするサイバー攻撃を実行したと表明。

同日付日経新聞、ロシア軍の侵攻を受けているウクライナがサイバー空間でロシアに対する「包囲網」を築く動きを加速している。グーグルなど米IT大手にロシアでのサービス中止を要請。「2022年現在、テクノロジーは戦車やロケットに対する最良の回答の一つ」とウクライナ副首相。

3月18日付日経新聞、ウクライナが対ロシアの「デジタル戦」に力を入れている。協力を求めた米ITなどは200社を超えた。ウクライナデジタル転換省は行政のデジタル化が任務だがロシアの侵攻を受け、反撃に軸足を移した。IT大手にロシア事業の停止などを働きかけ、ロシア市民の不満を高めたり、偽ニュースの拡散を防ぐ。「ウクライナは情報戦で形勢逆転に成功した」という人もいる。

ITツールを前提に生活している我々。検索はグーグル、パソコンのOSはマイクロソフト、スマホのOSはアップルかグーグル、SNSはFacebookかTwitter、どれも米IT企業。生殺与奪は米国にある。ITに関しては米国の植民地化。そう考えれば、中国は「さすが」なんだな。



一口メモ  
知識

## 漸進(ぜんしん)する

漸(ぜん)の進むや、女(じょ)の帰(とつ)ぐに吉なり。進んで位(くらい)を得、往(ゆ)きて功(こう)あるなり。

「漸」は、段階を経て、順序正しく段々に進んでいくこと。女性が嫁ぐ時は、このように進むのがよい。足踏みしているかのように見えて、休まずゆっくと着実に進んで行けば功績があるといっている。

風山漸(ふうざんぜん)の卦(か)は、苗木が大木に育つような、ゆっくりとした進み方を勧めている。大地にしっかり根を張り、結果を焦らず着実に一枝一枝、生長することによって大木となる。これは人間にもあてはまる。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

